



障害者生活支援センター

ドリームキャッチャー



〒723-0014
 三原市城町1丁目2番1号(サンシープラザ3階)
 電話：(0848)63-3319
 FAX：(0848)63-3359
 E-mail：dream-c@m-shakyo.jp

地域活動支援センターからのお知らせ

三原市生活支援・社会参加促進事業 令和6年度三原市障害者スポーツフェスティバル

「ぷよぷよ」eスポーツ体験会 参加者募集！！

前回大好評だった「eスポーツ体験会」を今年も開催します！
今回は2部制になります。皆様のご参加、お待ちしております！

日時：令和7年2月15日(土)
 1部：10時～12時
 2部：13時～16時
 場所：サン・シープラザ3階・4階
 対象：三原市内に在住、在学で障害のある人
 定員：各50名
 締め切り：令和7年2月3日(月)
 申し込み・問い合わせ：ドリームキャッチャー



※必ず申し込みを行ってください

12月3日～9日は「障害者週間」です



フクシカケルミハラ からのお知らせ

～私たちのチャレンジと出会うプロジェクト～

まちかどアート展

～三原をアートな作品で彩ります～

三原特別支援学校の生徒や福祉事業所に通う方々が作ったアート作品を展示します。

12月3日(火)～15日(日)

作業学習×福祉な販売会と発表会

三原特別支援学校・就労支援事業所で製作された商品の販売会授業の様子や就労支援でのチャレンジを発表します。

【日時】12月4日(水) 10:30～13:30
 【場所】フジグラン三原1階 催物ひろば

当事者対象ワークショップ

三原の障害者福祉について当事者の立場で語り合おう！

【日時】12月7日(土) 16:00～17:00

【場所】三原駅前スペース・サテラス

【対象】障害のある人とその家族

【申し込み】令和6年11月29日(金曜日)までに障害者福祉課まで



デフリンピック2025 応援企画

「講演会&映画上映会」

【日時】12月8日(日) 11:00～16:00

【場所】本郷生涯学習センター 多目的ホール



ハンドサインカフェ

聴覚障害がある人との交流や、簡単な手話でコーヒーなどの注文を体験できるカフェです。

【日時】12月8日(日) 10:00～13:00, 15:00～16:00

【場所】本郷生涯学習センター

東京2025デフリンピック開催(2025年11月)に向けて、

聴覚障害者デフスポーツの楽しさ・素晴らしさなどを現役デフアスリート早瀬久美選手にお話いただきます。

【講演会】13:45～15:00

短編映画上映『みんなのデフリンピック』

【上映時間】11:30～12:00, 13:10～13:40

日本初開催！ デフリンピックってなに？

きこえない選手のための国際的なスポーツ大会です。

「Deaf」は、英語できこえない人という意味です。

4年に一度、夏季大会と冬季大会が開催されます。

第1回の夏季大会は、1924年にフランスのパリで開催されました。

東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初開催となります。

国際手話のほか、スタートランプや旗などを使った視覚による情報保障が大会の特徴です。



令和6年4月1日から

合理的配慮の提供が義務化

されました

「合理的配慮」って何？

合理的配慮とは、障害のある方々の人権が、障害のない方々と同じように保障されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる配慮のことです。

例えば、車いすの利用者のために、携帯スロープを渡す、高いところに陳列された商品を取って渡すなどの物理的環境の配慮や、筆談・読み上げ・手話などによるコミュニケーション、分かりやすい表現を使って説明するなどの意思疎通の配慮、障害の特性に応じた休憩時間などのルール・慣行の柔軟な変更を行う、といったものがあります。

このような配慮は障害のある人のためのものだと思われるかもしれませんが。

でも実は、障害のない人も、普段の生活の中でいろいろと配慮をしてもらっています。

例えば、日差しが強いときなどのために、教室の窓側にはカーテンが付けられています。

また、外国の映画には日本語の字幕や吹替があります。

教室のカーテンや映画の字幕などは当たり前すぎて、配慮に思えないかもしれません。

でも、それがないと困るから、用意してくれているのです。

合理的配慮は「障害のある人だけに」ではなく、「障害のある人にも」配慮することなのです。

もし困ったことがあれば、まずは遠慮しないで、伝えてみましょう。



合理的配慮には、対話が重要です

合理的配慮の提供に当たっては、必要な対応について、障害のある人と事業者などが対話を重ね、ともに解決策を検討していくことが重要です。

障害のある人からの申し出への対応が難しい場合でも、障害のある人と事業者などが持っている情報や意見を伝えあい、対話に努めることで、目的に応じて代替りの手段を見つけていくことができます。

ピア交流会 IN 竹原

9月23日(月・祝)竹原にて行われたピア交流会に参加者さんと参加しました。

交流会では、午前は竹原、三原、大崎上島などのご当地クイズ大会が行われました。グループで話し合って1つの解答に絞り混んでいきました。解答を考えていくなかで、お互いに話しながら「そうだったんだ」と新しい発見も出来ました。終盤になると、白熱してきて大いに盛り上がり、とても楽しい時間となりました。

みんなでおいしいお弁当を食べた後は「東京演劇集団 風」によるバリアフリー演劇を鑑賞しました。ヘレン・ケラーとアニー・サリバンの出会いの物語を字幕、音声ガイド、舞台手話通訳によってあらゆる人が楽しめるように作られており、物語の面白さと劇団員の迫力のある演技に感動しました。

また、来年も参加したいと思える楽しいピア交流会となりました。

巡回相談

(偶数月:ドリームキャッチャー/奇数月:さ・ポートの相談員が対応)

大和保健福祉センター 10時から12時	本郷保健福祉センター 14時から16時	久井保健福祉センター 10時から12時
1/10, 2/7, 3/7	1/27, 2/10, 3/24	1/22, 2/26, 3/26

